

「お菓子のちから」作文コンテスト

優秀作品には、素敵な賞品をプレゼント！

最優秀賞 2名(小・中学生各 1名)…賞状及び図書カード3万円分

優秀賞 20名(小・中学生各10名)…賞状及び図書カード1万円分

※小学生の作品については、学年(年齢)を考慮して公平に審査します。

受賞校合計30校！

本コンテストを授業や冬休みの課題として是非取り上げてください。

積極的に本コンテストに参加していただいた学校には、以下の賞品を贈呈させていただきます。

※各賞の審査については、学校単位での応募総数などから総合的に判断しておこないます。

優秀学校賞 10校(小・中学校各5校)(A、B 2つのコースからお選びください)

Aコース 「学校行事まるごとお菓子プレゼント」(10万円分)

1校に対し10万円相当のお菓子をプレゼントします。遠足や卒業式、謝恩会など学校行事の際にお役立てください。

Bコース 図書カード(10万円分)

学校賞 20校(小・中学校各10校)

Aコース 「学校行事まるごとお菓子プレゼント」(5万円分)

Bコース 図書カード(5万円分)

学校単位に関わらず学年や学級単位など、教員の皆様がとりまとめてご応募いただいた場合には、各賞の対象とさせていただきます。また、学校単位(学年、学級単位)でご応募いただいた場合には、応募者全員分の参加賞(クリアファイル)をお送りさせていただきます。是非、ご応募ください。

応募資格

小、中学生

応募方法

小学生については400字詰め原稿用紙1枚以内、中学生については2枚以内とし、原稿用紙に「作品名・学年・名前」をご記入の上、事務局あてに郵送にてご応募ください。

作品と一緒に同封の応募用紙または、下記の内容を明記した用紙を添付してください。

【個人でご応募の場合】

作品名・住所・氏名・年齢・電話番号・学校名・学年

【学校単位でご応募の場合】

学校名・応募単位(学校、学級、学年)・応募作品数・全校生徒数・学校住所・代表者名・電話番号・希望の賞品(AコースもしくはBコース)

※作品に添付する用紙については、ホームページよりダウンロード可能です。
※応募作品数に制限はありません。御一人様何作品でもご応募可能です。

郵送に加えて、WEBサイトからの
WEB応募も可能です！▶



応募締切

2026年1月14日(水) ※当日消印有効

※北海道・東北は冬期休暇が長いため、1月16日(金)まで(当日消印有効)とします。

結果発表

2026年3月、ホームページ(www.okashi-navi.com)にて発表いたします。また、受賞者・受賞校に対しては事務局より連絡させていただきます。

応募規約

・応募作品の著作権(著作権法第27条及び第28条の権利を含む。)は主催者に譲渡されます。また、応募者は主催者に対し著作者人格権を行使しないものとします。

・応募作品が、主催者の管理するWebサイトやパンフレットなどに掲載されたり、作品をもとに二次的著作物が創作されたりする可能性があります。

・応募作品の内容が公序良俗に反するなど、本コンテストに不適切であると主催者が判断した場合、審査の対象から除外することがあります。

・応募作品は返却しません。

・応募に関わる個人情報については、応募者への連絡、受賞者の発表以外には一切使用しません。

〈問い合わせ〉

お菓子キャンペーン事務局 TEL.03-6703-0928

受付時間: 10:00~17:00

(土・日・祝日・年末年始12月30日~1月5日は除く)

※審査基準、審査結果についての問い合わせには一切応じられません。

応募に関する内容はホームページにも記載されています。
www.okashi-navi.com

〈応募先〉

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-16-8 鈴和ビル2F

「お菓子のちから」作文コンテスト係

「お菓子のちから」作文コンテスト

／ 昨年は全国から 25,927 作品のご応募！ ／

「お菓子のちから」作文コンテスト 実施にあたって

全日本菓子協会が実施する全国の小中学生を対象とした作文コンテストが今年で第17回目を迎えます。

昨年は小・中学校あわせて 25,927 作品と多数のご応募を頂きました。

これもひとえに教員の皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝いたします。

子供たちの様々な視点で書かれた作文には、時に心あたたまり、時に涙を誘われる作品が多く、子供たちならではの洞察力や表現で綴られた「元氣」に感動し、私たちは元氣をもらいました。

次世代を担う子供たちのこのような「元氣」は、たくさんの人に繋がって

やがて世の中が元氣になっていくと考えます。

今年度も、昨年度に引き続き「お菓子のちから」をテーマに作文を募集いたします。

子供たちに力や元氣を与えたお菓子のエピソードを自由に寄せていただきたいと考えております。



本コンテストを授業や冬休みの課題などとして
是非取り上げてください。



実施例



冬休みの
宿題

授業の
一環

クラブ活動
の一環

作文体験



積極的に本コンテストに参加していただいた学校には、以下の賞品を贈呈させていただきます。

「学校行事まるごとお菓子プレゼント」
(お菓子の詰め合わせ 5万~10万円相当)

図書カード(5万~10万円分)

詳しくは裏面を！

審査委員のコメント

アグネス・チャン (歌手・エッセイスト・教育学博士)

お菓子はただのスナックではなく、時には人に力を与えたり、癒しを与えたりします。子供たちのエッセイを読んでいると、様々な場面の中で、お菓子は大きな役割を果たしてるのが分かります。お菓子を通して、親の愛を感じたり、分かち合う精神を覚えたり、人の優しさに気づいたり、挫折したときに立ち直る力を与えてくれたり。。。子供の成長と切っても切れない関係であります。審査しているときには、いつも感動します。一人で笑って、泣いて、純粋な子供たちの文章に心が響きます。是非あなたのお気に入りのお菓子、忘れられないお菓子の事を教えてください。楽しみに待っています。



お菓子は心も体も元気にします

子供の成長期には多くのエネルギーが必要となるため、お菓子を食べることは食事で足りない栄養やカロリーを補うことになります。このようにお菓子は健康な体づくりに貢献しますが、それだけでなく心を元気にします。家族や友人達とお菓子を囲んだひとときを持つことによって、会話がはずみ、団らんや安らぎや元気を生み出します。お菓子の美味しさを分かち合い、楽しい時間を過ごす事により絆が強まります。お菓子には心も体も元気にする力があるのです。

文章力を身につけることの大切さ

手紙を書くという習慣が薄れ、パソコンや携帯などのメールで手軽に文章をやりとりする時代になったこともあり、学校の授業以外では自分で文章を書くことが少なくなってきたと言われています。自分の思いや気持ちを定められた文字数の中に表現することは、文章力を養うことに繋がり、子供たち自身の生活を見つめ直す良い機会でもあり、子供たちにとって大きな可能性につながるものと思います。

少々思いあがった願いかも知れませんが、お菓子という身近なものを通じて、子供たちの様々な体験や思いを文章に表現してもらうことにより、子供たちの文章力を養うお手伝いができるのではないかと考えております。

是非、多くの子供たちの参加が得られるようご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

主催者一同

応募学校の先生方や審査委員からも

毎年応援や賛同するコメントを多く頂戴しております。

子ども達も意欲的に書き、書いた事について楽しそうに話していました。

要項を読ませていただいた時、どの子にとっても無理なく書ける字数であることや、関心をもちやすいテーマで食育とつなげて指導できること、さらに優秀作品への賞品がとても素敵なものであることから、ぜひ参加したいと思い職員に紹介させていただきました。夢のあるコンテストだと思います。

子ども達も意欲的に書き、書いた事について楽しそうに話していました。ありがとうございました。

岐阜県 小学校 担任教諭より

「自分の体験や気持ちを人に伝えるように書くこと」の大切さを学習できました。

学校行事の一貫としてお菓子作りを体験しましたので、この体験をぜひ「書く」学習にも活かしたいと思い応募しました。この作文を通じて、自分の体験や気持ちを人に伝えるように書く大切さを学ぶことができたと思っています。生徒たちにとって身近であるお菓子がテーマなので、意欲的に取り組んでいました。

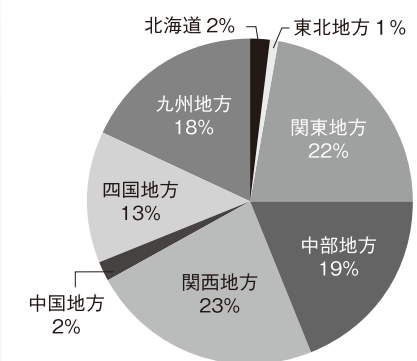
愛知県 中学校 国語科教諭より

全国から 25,927 作品
～小中学生の皆さんからたくさんの応募をいただきました～

2009年度からはじまり、今年で17回目となった本作文コンテストでは全国の小中学生より多数の応募をいただいております。昨年度は小学生からは計11,099作品、中学生からは14,828作品もの応募をいただきました。

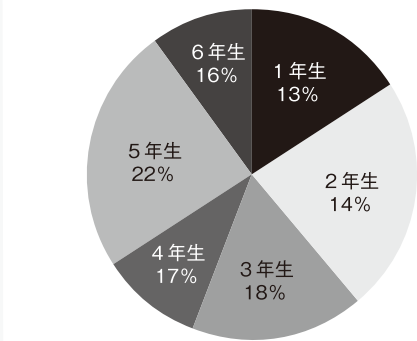
小学生

【地方別】



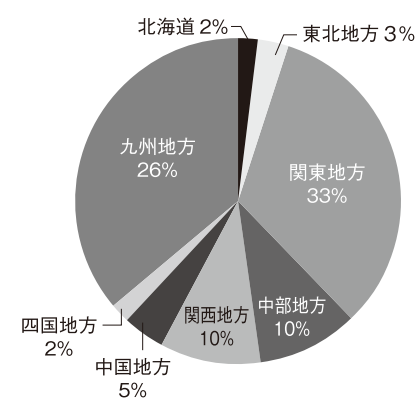
エリア	割合	作品数
北海道	2%	222
東北地方	1%	111
関東地方	22%	2,442
中部地方	19%	2,109
関西地方	23%	2,553
中国地方	2%	222
四国地方	13%	1,443
九州地方	18%	1,998

【学年別】



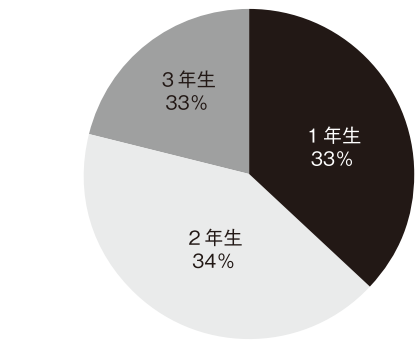
中学生

【地方別】



エリア	割合	作品数
北海道	2%	297
東北地方	3%	445
関東地方	33%	4,893
中部地方	10%	1,483
関西地方	10%	1,483
中国地方	4%	593
四国地方	2%	297
九州地方	36%	5,338

【学年別】



データ出典:2024年「お菓子のちから」作文コンテスト応募学校より集計